

研究計画概要

| | |
|-------------|--|
| 助成年度・種別 | 2021年度 若手研究助成 |
| 研究者 | 佐々木 健太 |
| 所属 | 公益社団法人 みやぎ犯罪被害者支援センター |
| 研究テーマ | 犯罪被害者遺族のサポート・グループにおける有用な支援と留意点の検討 |
| 研究計画概要 | <p>我が国の犯罪被害者遺族の総数は少なくとも数十万人に及ぶ。犯罪被害による死別は強い精神的衝動をもたらし、治療が必要な心的外傷後ストレス障害(PTSD)等の有病率が高いとされるが、その支援は十分ではなく、質の高い支援方法の確立が地域保健・福祉における喫緊の課題の一つである。</p> <p>本研究では、これまで詳細な研究がされていない犯罪被害者遺族のサポート・グループについて着目する。本研究では、犯罪被害者遺族のサポート・グループを運営してきた支援者へインタビューを行い、犯罪被害者遺族の抱える困難、それを踏まえたサポート・グループにおける支援における工夫や留意点についてまとめ、サポート・グループにおけるより有用な支援の在り方を検討することが目的である。</p> <p>研究計画は以下の通り。2021年4月～6月に先行研究を収集、同年7月～11月にインタビュー実施、逐語録作成、同年12月～2022年1月にデータの分析、2022年2月～5月に質的研究者およびグループの専門家による検討、本文の執筆、2022年6月に日本コミュニティ心理学会にて発表、2022年8月に日本心理臨床学会誌に論文投稿、を計画している。</p> |
| 選考委員からのコメント | <p>本研究は、犯罪被害者遺族の民間被害者支援団体の支援者に対する半構造化面接による調査である。分析には、GTA(Grounded Theory Approach)を用いてサポートグループが遺族にとって役に立つためにはどのような変容プロセスを辿るのかを明らかにすることを目的としたものである。研究目的が達成されるならば、本研究から期待される成果は大きく、全県に存在していると思われる支援団体が研究成果を参考にし、より効果的な運営を可能にするものと思われる。</p> |